

【横浜市最高顕彰】

第71回(令和4年度)横浜文化賞

受賞者が決定しました！

2022年9月14日
市長定例記者会見
説明資料

横浜文化賞

- 横浜市の最高顕彰として、文化の向上及び発展に寄与することを目的に、芸術、学術、教育、社会福祉、産業、スポーツ振興等、文化の発展に尽力し、その功績が顕著な方々に対し、賞を贈呈
- 受賞者は8月8日開催の横浜文化賞選考委員会で選考
- 今年度の受賞者数
横浜文化賞：4名1団体／文化・芸術奨励賞：1名1団体

横浜文化賞 受賞者のご紹介

(各部門別 50音順、敬称略)

能楽師

- 横浜能楽堂での公演や横浜赤レンガ倉庫の屋外公演などに多数出演。
- 市内で子どもを含む市民向けの普及活動を行うなど、横浜の能楽文化発展に貢献。



©STUDIO ALICE

鎌倉彫師範

- 日本伝統工芸「鎌倉彫」の師範。
- 横浜を拠点に半世紀以上に渡って活動し、100歳を越えた現在も現役。
- 長年にわたる活動で鎌倉彫に対する社会の関心を高めた。

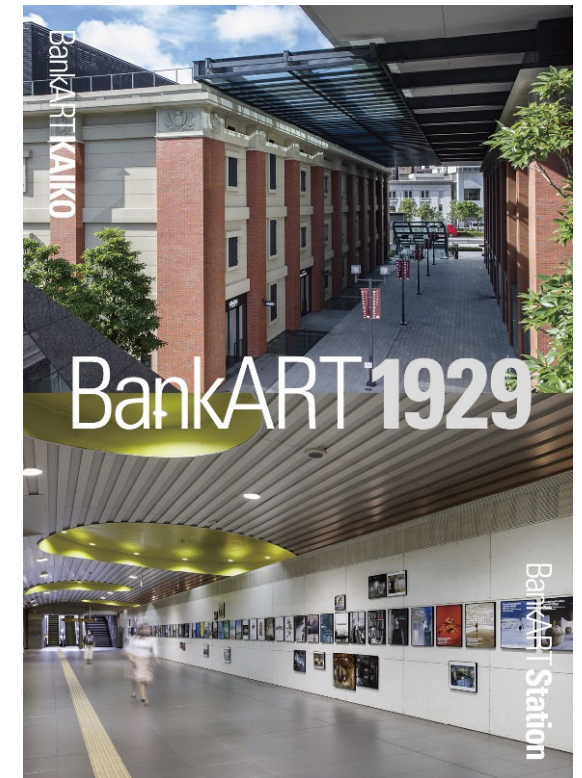


特定非営利活動法人BankART1929

【横浜文化賞 文化・芸術部門】

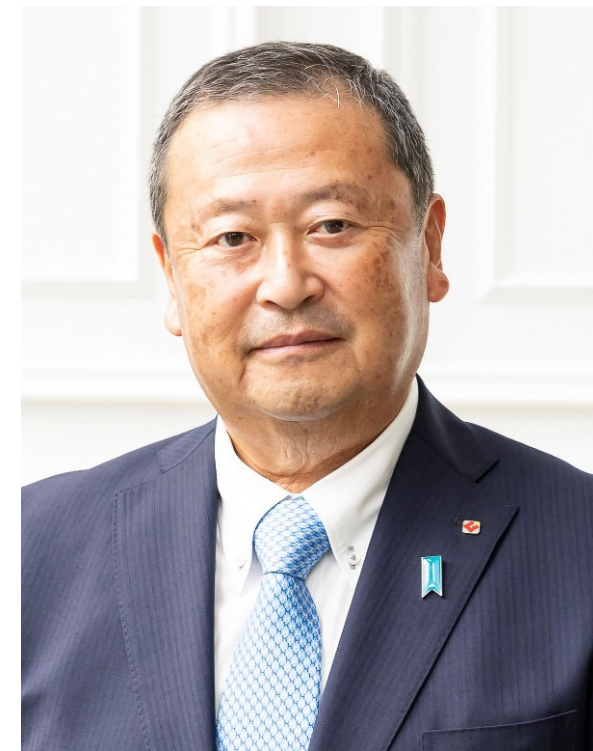
アートNPO

- 市内の歴史的建造物等を芸術家の創作・発表・滞在場所として活用。
- 街の魅力や活力を生み出す活動など、アートによるまちづくりが、国内外から高く評価。



横浜中華街発展会協同組合理事長

- 「横浜中華街の春節」の賑わいをみなとみらい21地区等にも広げる。
- 冬の観光閑散期に新たな観光コンテンツを創出。
- 中華街と市内経済の発展に尽力。



株式会社ありあけ代表取締役会長

- 横浜土産として親しまれた「ハーバー」復活の立役者。
- パッケージデザインを柳原良平氏のものに一新する等、お菓子を通じて横浜の魅力を発信。



横浜文化賞 文化・芸術奨励賞 受賞者のご紹介

(各部門別 50音順、敬称略)

株式会社オンデザインパートナーズ

【横浜文化賞 文化・芸術奨励賞】

一級建築士事務所

- ヴェネチアビエンナーレ国際建築展で特別表彰を受賞したヨコハマアパートメントなどを手掛ける。
- 周辺環境や人との関わりに重きを置く手法が、各界から高く評価。



©OHNO RYUSUKE

ジャズ作曲家

- 世界的なジャズ作曲家であると共に横浜のライブハウスでも活躍。
- 米音楽雑誌「ダウンビート」誌で“ジャズの未来を担う25人”にアジア人として唯一選出。



Photo : Agnete Schlichtkrull

贈呈式・記念コンサートについて

- 日時・場所
11月2日(水)13:30 開式
横浜みなとみらいホール 小ホール
- コンサート出演者
クアルテット・フェリーチェ
(弦楽四重奏／ミュージック・マスタース・コース・ジャパン2021修了生)
- 市民招待
250名をご招待します。
募集は10月7日まで。
皆様のご応募をお待ちしております。



(c)T.Tairadate